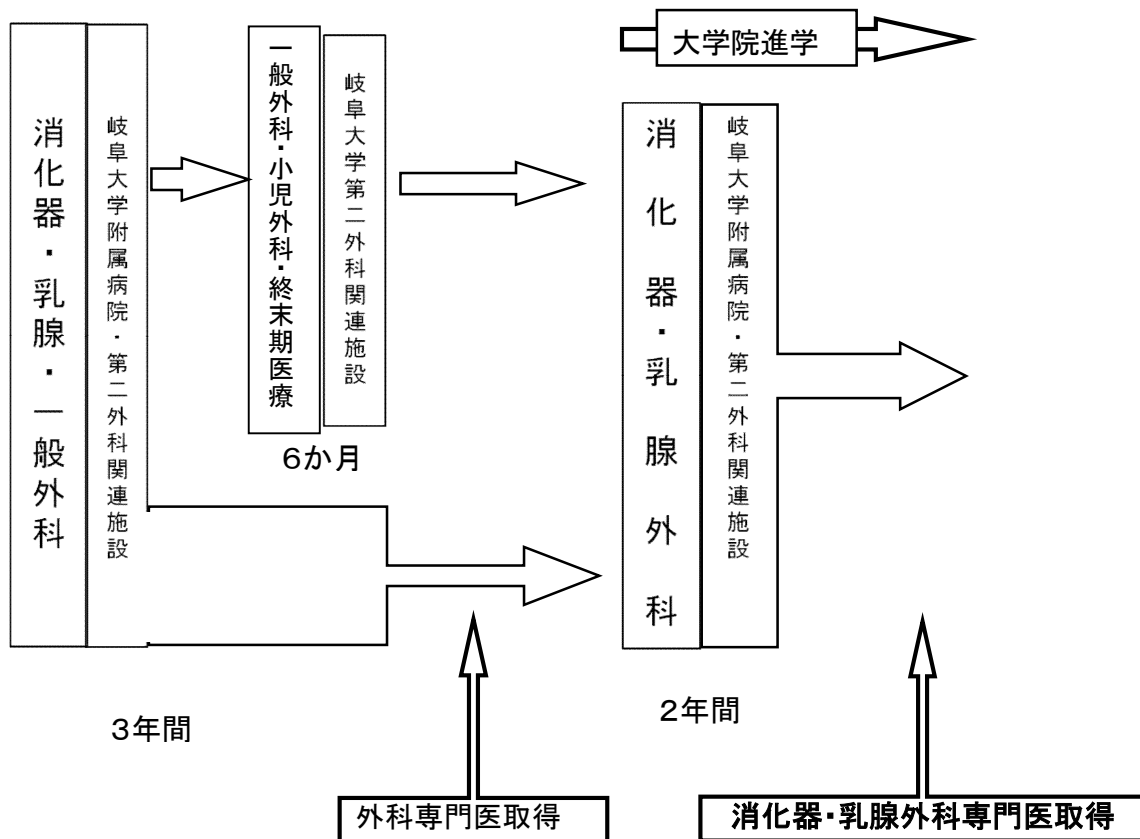


消化器外科コース（第二外科）

（１） コースの全体像

本コースは2年間の卒後初期研修の修了者を対象とし、外科専門医修練カリキュラムに沿った3年間の後期研修は岐阜大学附属病院を中心とした関連施設（外科学会および消化器外科学会の指定修練施設）で行い、うち3カ月程度を胸部外科における経験期間とする。また同期間のうち希望に応じて6か月間を、地域医療に関連した広範囲な一般外科的経験、終末期医療に特化した研修あるいは小児外科領域の修練の時期にあてるものとし、日本外科学会専門医取得に必要な診療・手術経験のみならず広義の外科学への理解を促す。その後の2年間は主には消化器外科学会専門医取得のための期間と位置づけ、消化器外科手術件数の豊富な研修施設を主な勤務機関とした上で研修を継続するとともに、大学院への進学を考慮する。以上で消化器疾患に対する専門的な立場からの集中的な経験、論文執筆の指導・機会、医学博士取得を目的とした方向性を明示することが可能となる。



(2) コースの概要

大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成(受入)人数	期間		
岐阜大学医学部 附属病院	第2 外科	腫瘍外科	8名	外科後期研 修、外科・消 化器外科専門 医資格取得	5名	5年		
岐阜県総合医療 センター	外科	消化器外科	6名	外科後期研 修、外科・消 化器外科専門 医資格取得	10名	5年		
岐阜市民病院	外科	消化器外科	5名					
高山赤十字病院	外科	消化器・一般外科	4名					
JA 岐阜厚生連 揖斐厚生病院	外科	消化器・一般外科	4名			6か月		
JA 岐阜厚生連 岐北厚生病院	外科	消化器・一般外科	3名					
医療法人社団 志聖会 犬山中央病院	外科	消化器・一般外科	3名					
医療法人社団 誠広会 岐阜中央病院	外科	消化器・一般外 科・終末期医療	3名					
市立恵那病院	外科	消化器・一般外 科	2名					
国民健康保険 関ヶ原病院	外科	消化器・一般外科	2名					
下呂市立 金山病院	外科	消化器・一般外科	2名					
独立行政法人国 立病院機構長良 医療センター	外科	小児外科	2名			外科後期研 修、外科専門 医資格取得		6か月

(3) コースの実績

取得可能な専門医・認定医は、外科専門医、消化器外科専門医、癌治療専門医、消化器がん外科治療認定医などであり、消化器外科医として必須の内容のみならず、専門性の高いものを含む。専門医取得に必要な手術件数、業績指導のための教育担当スタッフの配置も充実している。

(4) コースの指導状況

外科専門医取得のための関連施設における一般外科症例が、また消化器外科専門医取得のための施設における消化器外科症例が、全身麻酔の手術件数がいずれも500例を超える。また関連施設ではほとんどの医師が外科専門医として認定されており、中でも消化器外科専門医・指導医を有する場合が多いため、専門分野における知識および経験の供給が可能で指導状況としては極めて充実している。

(5) 専門医の取得等

学会等名	日本外科学会
資格名	外科専門医
資格要件	外科専門医：350例以上の手術手技を経験（うち120例以上は術者としての経験が必要）し、一定の資格認定試験を経て認定される。この専門医は消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科および小児外科、乳腺外科などの関連外科（サブスペシャリティ）専門医を取得する際に必要な基盤となる共通の資格である。なお広告できる医師の専門性に関する資格の一つとして、厚生労働省に認可されている（平成15年4月25日付）。
学会の連携等（100字以内） 日本消化器外科学会専門医など取得には、外科専門医であることが必須事項である。	

学会等名	日本消化器外科学会
資格名	消化器外科専門医
資格要件	1. 日本国の医師免許を有すること。 2. 日本外科学会認定医または専門医であること。 3. 継続3年以上本会会員であること。 4. 臨床研修終了後、指定修練施設において所定の修練カリキュラムに従い、通算5年以上の修練を行っていること。 5. 専門医修練カリキュラムに示された手術のうち、規定の必須主要手術を含む450例以上の経験を必要とする。 6. 消化器外科に関する筆頭者として研究発表を6件以上（論文3編を含む）有し、対象となる業績は「評議員審査のための業績基準」に定められた内容に限る。

学会の連携等

さらに領域を絞った専門医（肝胆膵高度技能専門医や大腸肛門病専門医等）を取得するためには必須。